

# 地域住民参加型の「子育て支援」の仕組み構築

市町・自治体・団体



三木市

課題解決事業者①



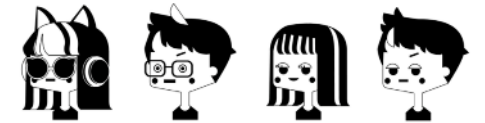
Lullaby株式会社

課題解決事業者②



株式会社セルフウイング

課題解決事業者③



CHANTO INC



CHANTO株式会社

## テーマ

地域住民参加型「子育て支援」の仕組みを構築  
～こどもの段階から未来を担うチェンジメーカーを育てる～

## 取り組みたい理由・地域課題



人口が減少することを現実として受け止め、選ばれるまちになるために、地域内  
人財が活躍することで地域解決を図る仕組み構築が持続可能な未来のために必要。

SDGs11『住み続けられるまちづくり』の実現に向け、

地域人材がデジタル技術を活用しリアルに繋がり活躍する仕組みを

まちづくりのなかで実現したい。



## 目指したい世界

## 地域住民参加型「子育て支援」の仕組みを構築

## 課題①

夜泣きによる  
子育て世帯の負担軽減

## プロジェクト①



三木市の産後家庭の睡眠改善ニ  
ーズ確認と支援者養成の実証

## 課題②

地域課題を地域人財が  
解決する人財育成の  
仕組みづくり

## プロジェクト②



早期からのアントレ教育の必要性の普及  
のためのセミナー・ワークショップ・幼  
児期からのアントレ指導者育成プログラ  
ムの実施

## 課題③

地域参加型の  
「子育て支援」の仕組みの構築

## プロジェクト③



リスキングによって地域内人材を育成  
し、それらの人々が利用できるマッチン  
グプラットフォームを構築する

## 実証概要

## 地域課題を解決する人財育成に向けた意識改革と仕組み構築

## 目的

地域課題を地域人財が解決する仕組みの構築に向けたアントレプレナーシップに触れる機会の創出と人財確保

## ターゲット

市内高校生  
市内小学生

## 事業者のアセット

アントレプレナーシップに係るセミナー実施

## 市町のアセット

市内高校との連携による人材マッチング  
市内小中学校との連携に向けたプロジェクト共有  
市内保育協会との連携に向けたプロジェクト共有

## 実証に向けた準備

## 仕組み構築に向けた『金沢未来のまち創造館』視察R7.12/17



【目的】地域のなかでチェンジメーカーを育てる

次世代の人財育成に取り組まれている金沢市の施設を訪問し、行政担当者から取組内容及び思いをお聞きするとともに、必要となる施設と備品、人財について視察、意見交換を行った。

【三木市への反映】

- ・施設に設置する設備についてどのような使われ方をしている、どのような人材育成に寄与しているのか。
- ・高校生や大学生がメンターとなり、小中学生を支える仕組み

## 実証①視察を経た仕組みの構築

アントレプレナーシップ（起業家精神）将来のチェンジメーカーを育てる  
高校生向けセミナーの開催※三木チェンジメーカーライト版

## ■ 目的：地域のなかでチェンジメーカーを育てる

地方創生を実現するためには、地域の課題を自ら発見し、解決し、新たな価値を生み出す人材の育成が不可欠である。これは短期的に実現できるものではなく、中長期的な視点で継続的に取り組む必要がある。

本事業は、官民連携により3年から5年の期間をかけ、次世代のチェンジメーカーを地域内で育てる仕組みを構築するものである。令和7年度ひょうごTECHイノベーションプロジェクトを基盤とし、JET-ALL等とも連携しながら、アントレプレナーシップ教育を通じた人材育成を推進する。

高校生を起点に、メンター人材を育成し、そのメンターが小中学生を支える「三木版メンター循環モデル」を構築する。さらに、幼稚園から高齢者まで、多世代が学び合う環境を整備し、地域全体で人材を育てる基盤を形成する。

本事業は、起業家の創出にとどまらず、地域に新たな価値を生み続ける人材を育てることを目的とする。

## ■ 対象と特徴

本事業は、幼稚園児から高校生、さらに地域コミュニティのすべての世代を対象とする。

三木市とセルフウイングが連携し、アントレプレナーシップ教育を指導できる人材を地域内で育成・認定。この認定人材が次の世代を育てることで、学びと挑戦が循環する仕組みを構築する。外から与える教育ではなく、地域の中で育ち、地域が育てる。

三木市内に持続可能な「アントレプレナーシップのエコシステム」を確立する。

セルフウイング

三木市  
×  
セルフウイング

アントレプレナー講師  
SelfWing Methodプログラム指導者  
【要件】SelfWing Method研修受講、試験  
【活動内容】次世代人財育成

アントレプレナー講師候補  
【三木版】  
ジュニア・チェンジメーカー認定制度構築  
【要件】3～5時間研修、試験  
【活動内容】  
メンターとして、小中学生を伴走支援  
※AIを活用した指導支援

## 実証②セミナーによる人材発掘・周知

## 三木東高等学校でのセミナー開催 R8.1/9



## 【目的】地域のなかでチェンジメーカーを育てる

三木東高党学校3年生総合学習アントレプレナーの授業においてアントレプレナーシップセミナーを開催し、『チャレンジすること、失敗を恐れないこと、応援する仕組み』等に係る座学と、ワークショップによる具体化に向けた実証を行った。

## 【ワークショップ】

全国的な課題である郊外型戸建て住宅団地の再生に向けて進める団地再生の核となる『三木市多世代交流施設HITOTOKIMIKI』が令和8年5月にオープンするにあたり、どのような企画を立てることで賑わいを生むことが出来るかを8チームに分かれて検討、発表を行った。

定量  
結果

セミナー後1名の起業志望者  
ライト版チェンジメイカー  
参加希望者2名  
小学生から起業家講座参加意向1名



定性  
結果

アンケート結果

【セミナーアンケート後の感想】

参加人数36人

- ◇自分の好きなこと、得意なことを考えてみたいとより思うようになった。
- ◇自分の身のまわりの生活や社会で不便なこと、疑問に思うことを見つけてみたいと思うようになった。
- ◇うまく行くかどうか分からない物事でも、失敗を恐れず、チャレンジしてみたいと思うようになった。
- ◇誰かと協力して物事を進めることは大切だと強く思うようになった。
- ◇色々な将来の幅を広げることができそうな点や色々な進路があることがわかった。
- ◇誰でも起業家になれることがわかった。 等

## 総括

子育て支援の仕組みの中に、子ども達が自ら学ぶ機会の創出を組み入れた考え方の周知を保育・幼稚園、小・中学校、高等学校に対し、共有することが出来、意識改革の第一歩を踏み出すことが出来た。



## 期待される効果

市内でチャレンジすることに対する風土を醸成するとともに、子どもたちから起業家が生まれる土壌が育つ。

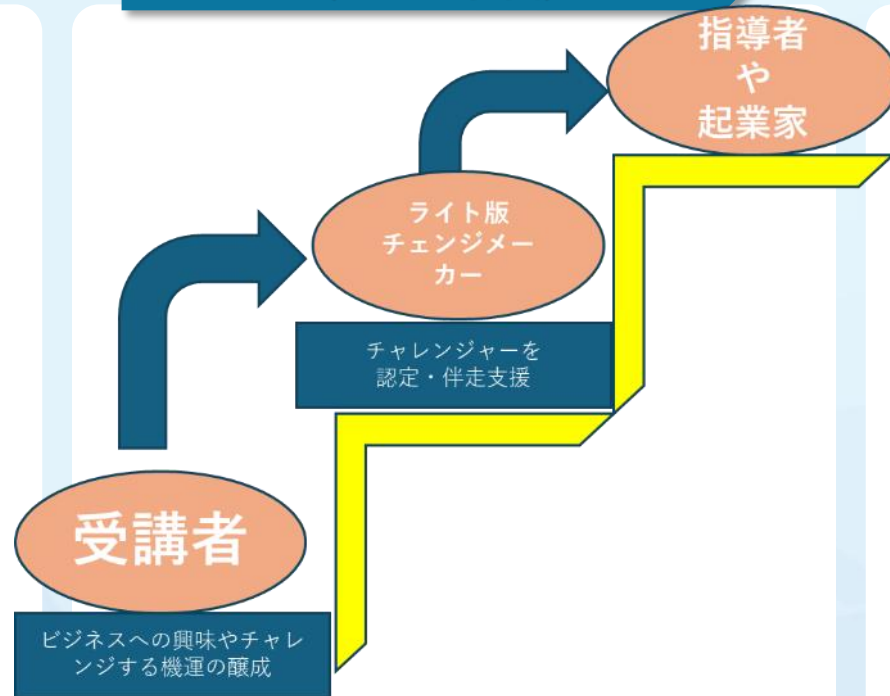
## 改善点

セミナー開催時期がテストや受験などと重なったことにより、多くの参加者を集めることに苦勞した。次期設定と学校との連携調整に力を注ぐ。

## 今年度の結果



- ・ 起業家を目指す生徒 1 名
- ・ ライトバンジュニアチェンジャー候補 2 名

次のアクション  
(2026年度)

- ・ 三木市多世代交流施設チャレンジショップを通じた起業実証
- ・ 三木市多世代交流施設をアントレベースとした人財育成


## ゴールイメージ



- ・ 三木市多世代交流施設から起業家が育つ
- ・ アントレベースの自走化

実装

## 三木市のアントレ拠点をエコシステムで共創

 三木市

場所の提供  
政策的なバックアップ  
地域課題の解決

 SelfWing

教育プログラム設計  
拠点運営ノウハウ提供  
全体コーディネート  
ファシリテーター育成



## Entre Base

地域の学びと実践の拠点

ハブ機能

 幼稚園・学校

公教育での普及  
アントレ教育の実施  
子供たちの継続支援

 地域

リアルなビジネス課題提供  
資金的支援（スポンサー）  
採用連携・インターン  
雇用の創出・新事業の立ち上げ

こんな人と話したい

- 自治体・企業（拠点形成）：地域にアントレ拠点を構築・運用したい方
- 教育者・志望者（指導者）：アントレ教育の指導者を目指す方
- 個人・団体・企業（支援者）：地域のアントレ拠点の支援者になりたい方